

葉が"ど"のよう

なつくりか

1-16班

言"周"へ"る!!

方法

1. 葉の裏側の表皮を観察する。
（葉の裏側の表皮を「^{ひょう}ひ」を観察する。）
2. 葉の断面を観察する。

ポイント

100倍程度で観察する。

⁺細胞のつくりがすべて同じもの
だけか、並び方に特ちょうは
ないかよく見る。

結果

葉は多くの細胞から出来ている。
つぶつぶした葉緑体がたくさん
ある。細長い細胞2つにはさまれた穴を
気孔という。2つの細胞の働きに
より、気孔は開いたり閉じたりする。
また、根から吸い上げた水は、

植物の体から水蒸気として放出されることを蒸散という。

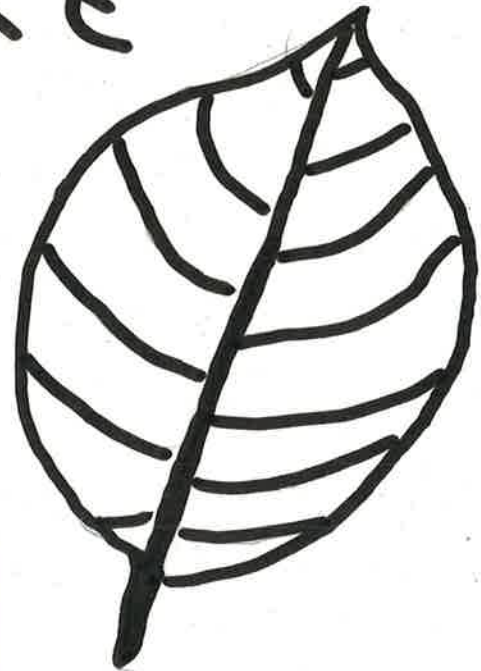


葉のすじのようなものは、葉脈

(ようみやく)と言う。

葉脈が網目状の葉脈を

網状脈という。



平行になっているのは、
平行脈という。



考察

葉はたがいに重ならないように出来ていた。つぶつぶした葉緑体がたくさんあった。

多くの日光が当たるために平たく出来ている。

まとめ

葉は、たくさんの葉緑体がある。

気孔は、2つの細胞によって出来ている。

表皮にある。

根から吸い上げられる水は、植物の体から水蒸気として放出されることを

蒸散という。